

第51回神戸電鉄粟生線活性化協議会

日時：令和6年2月9日（金）

午後1時40分～午後2時40分

場所：三木市立市民活動センター 3階 大会議室

○事務局

失礼します。

定刻となりましたので、ただいまから第51回神戸電鉄粟生線活性化協議会を開催いたします。

私は、本協議会事務局の三木市都市整備部長をしております〇〇と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、ここからは失礼ながら着座にて進行させていただきます。

それでは、協議会の開会に当たりまして、協議会会長の仲田三木市長から御挨拶を申し上げます。

○会長

皆さん、こんにちは。

今日はどうしてお集まりいただきましてありがとうございます。

第51回目、本年度3回目となります粟生線活性化協議会、こうして多数お集まりいただきましたことに重ねて御礼を申し上げます。

この協議会、少し振り返ってみますと、令和4年12月に神戸電鉄粟生線地域公共交通計画を策定し、この計画の期間が令和10年3月までの約5年間の計画期間として、現在、計画に基づく事業に取り組んでいるところでございます。

毎年、この協議会につきましては、年度3回開催しておりまして、1回目は春に協議会の決算や予算について、2回目は夏から秋にかけて国への要望に対する内容について御検討いただき、そして、3回目は年末であったり、本年は2月ですが、この計画に基づく事業の取組状況の報告をさせていただきます。皆様がたからいただきました御意見を踏まえて、次年度以降の取組に反映していくということで進めさせていただいております。

そういう中で、本日は国への要望の実施の状況、また、粟生線の利用状況、また、本年度の利用促進の取組の状況について御報告させていただきますので、また、皆さんがた、忌憚のない御意見を聞かせていただければというふうに思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。冒頭、簡単ではありますが、挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○事務局

ありがとうございました。

それでは、会議次第2、委員紹介に移ります。

お手元の配布資料のうち、一番最後になります協議会規約の4ページ目、別表1の名簿を御覧いただきたいと思っております。

名簿のうち朱書きの委員につきましては、前回協議会から変更があった委員となりますので御紹介させていただきます。

小林清豪様に替わりまして、小野市副市長、藤原博之様でございます。

○副会長

藤原でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○事務局

藤原委員におかれましては、引き続き、本協議会副会長を務めていただきます。

続きまして、〇〇様に替わりまして、兵庫県三木警察署交通課長、〇〇様でございますが、本日は欠席とお伺いしております。

委員紹介は以上となります。

続きまして、代理出席いただいている委員の紹介をさせていただきます。

兵庫県土木部次長、〇〇様の代理として、〇〇様に御出席いただいております。

〇〇〇委員代理

交通政策課の〇〇と申します。よろしくお願い致します。

○事務局

オブザーバーとして御出席いただいております国土交通省近畿運輸局交通政策部交通企画課長、〇〇様の代理として、〇〇様に御出席いただいております。

〇〇〇オブザーバー代理

交通企画課の専門官をしております〇〇です。よろしくお願い致します。

○事務局

なお、〇〇様、〇〇様、〇〇様、〇〇様、〇〇様、〇〇様、〇〇様は欠席ということで御連絡をいただいておりますので、お伝えいたします。

本日の委員の出欠状況につきまして、報告させていただきます。

本協議会の委員25名のうち出席は17名であり、過半数以上の出席をいただいていることから、協議会規約第8条第4項の規定により本会議は成立していることを御報告申し上げます。

それでは、これからの進行につきましては、仲田会長にお願いいたしたいと思います。

仲田会長、よろしくお願い致します。

○会長

はい。それでは、お手元の会議次第に沿って進めさせていただきます。

3番目の報告事項のうち、まず、1番です。

さきほど申し上げました国への要望について、これは事務局から報告をお願いいたします。

○事務局

皆さん、こんにちは。三木市都市整備部交通政策課の〇〇と申します。

以下、着座にて説明させていただきます。

そういたしますと、お手元に資料1を御用意いただきたいと思います。

神戸電鉄粟生線活性化の取組等に対する支援に関する国への要望の実施についてということでございます。

1の要望の趣旨につきましては、前回の協議会で御承認いただいたとおりでござ

ございますが、（１）栗生線の運行継続を可能とする長期的視野に立った財政支援をはじめまして、全５項目となっております。

２の要望者につきましては、神戸電鉄栗生線活性化協議会として、仲田会長、藤原副会長、〇〇委員、〇〇委員代理に要望活動をいただきました。

要望の実施日につきましては、令和５年１０月４日ということでございます。

４の要望先でございますが、面会者といたしまして、水嶋国土交通審議官をはじめとしまして、全５名のかたに御面会させていただいたというところでございます。

ページをめくっていただきまして、（２）のその他要望先でございますが、御覧のとおり国会議員として４名のかた、それから、国土交通省及び財務省ということで２８名のかたに要望させていただいたということでございます。

一番最後のページになりますが、要望活動時の写真ということで、実際に御面会させていただいたときの写真を掲載しておりますので、御参考に御覧いただきたいと思っております。

ひとまず、資料１については以上でございます。

○会長

ありがとうございました。例年どおりの要望活動でございます。

何かお気づきの点、また、御意見、御質問等がありましたら、挙手にてお願いをいたします。

（「なし」の声あり）

○会長

なければ、ひとまず次の２番目に移らせていただきます。

また、後で御質問等をまとめて、忘れていたということであれば、どんどん挙手をお願いいたします。

栗生線の利用状況ということにつきまして、これは神戸電鉄様のほうからよろしくをお願いいたします。

〇〇〇委員

神戸電鉄の〇〇でございます。

平素は弊社事業に対しまして御理解と御支援を賜っておりまして、誠にありがとうございます。この場を借りて、お礼申し上げます。

それでは、栗生線の利用状況につきまして、申し訳ございませんが、着座にて御説明をさせていただきます。

資料２を御覧ください。資料２に栗生線の利用状況についてまとめてございます。

まず、１ページ目及び２ページ目に２０２３年度の実利用数と月別の推移、それから、券種別の推移というものをまとめてございます。

まず、１ページ目でございます。

２３年度につきましては、５月のゴールデンウィーク以降、コロナの扱いが５類になったということによりまして、特にお出かけの多い５月、それから、７月、８月というのが、対前年度で比較しますと、プラス５％以上ということでやや大きくなってございます。

ただ、直近の11月、12月を見ていただきますと、対前年度、対22年度ですけれども、プラス2%、プラス2.4%ということで、若干増加率が鈍ってきておるといような状況でございます。

それから、2ページ目を御覧ください。

2ページ目でございますけれども、まず、左の表でございますけれども、これが累計数でございます。4月から12月の累計でございます。

これを見ていただきますと、コロナ以降の2020年度以降については、順調に回復をしておるといのがお分かりいただけるかと思えます。

ただ、この表の一番下でございます対19年度比、すなわち、コロナ前と比較しますと、まだマイナス13.5%ということになっておりまして、まだまだ厳しい状況が続いておるといことでございます。

それと、その表の右にあります表はその内訳でございます、定期と定期外ということで分けて集計をしておりますけれども、これも一番下の数字を見ていただきますと、定期外については11.7のマイナスということで、定期についてはマイナスの14.9ということで、これからもお分かりのように、定期外は比較的回復が進んでおるといものの、定期については相変わらず厳しい状況が続いておるといところでございます。これについては、生活様式の変化に伴いまして、出勤日数が減少しておるといようなことが影響しておるといことで、定期から定期外の転移があるものというふうに推測してございます。

それでは、3ページ目を御覧ください。

3ページ目に、それぞれの各市ごとの構成比を示してございます。

下の表でございますけれども、青で示しておりますのは神戸市の計でございます、その一番右端を御覧いただきますと、その比率をお示しております。神戸市の合計が46.3、それから、下の緑のところの三木市計が36.6、それから、小野市の黄色が17.1という、それぞれの比率になってございます。これにつきましては、前年とほぼ変わらずということで、比率についてはほぼ固定化しているといところでございます。

続きまして、4ページ目を御覧ください。

こちらは、4月から12月の累計を2022年度と比較した増減というふうになってございます。

下の段の右端が、各駅における増減率を示してございます。

主な増減のところを申しますと、まず、木津駅の増加率がプラス7.0%というところでございます。これは、おそらく木津の工業団地への就労者数が回復しているものというふうに推測してございます。

それから、次に、三木駅でございますけれども、増加率がプラス6.3%というふうになってございます。これは増便による効果というものと、それから、駅及び駅前ロータリーのリニューアル整備等もあり、人流が増加したのではないかというふうに推測しております。

それから、続いて、榎山駅の増加率が10.8%というふうになってございます。この駅については、もともと外国人労働者の利用割合が高かったということで、その外国人労働者が徐々に戻ってきているのではないかというふうに推測し

てございます。

それから、その他のところで、藍那駅が増減率で大きなマイナス、それから、三木上の丸駅、それから、葉多駅については、増減率で10%近く、あるいは、10%を超えるプラスになっておりますけれども、これはいずれも駅自身の乗降数が少ないということで、基の分母が小さいということもありまして、要因の特定にはちょっと至っておりませんので、今後も注視していきたいというふうに考えてございます。

続きまして、別表で付けておりますA3の資料、別紙1を御覧ください。

これは、月別に粟生線の利用者数の推移をグラフ化したものでございます。

月によってだいぶでこぼこはありますが、右肩上がりに順調に回復しておるといのがグラフを見ていただくと分かるかなというふうに思っております。

それから、もう一つのA3の資料、別紙2の色分けしております棒グラフでございしますが、これについては別紙1のデータを月別に並べたものでございます。

コロナ以降につきましては、月別で見ましても、おおよそ右肩上がりという棒グラフになってございます。2022年度の黄色と2023年の赤色の高さがほぼ変わらなくなってきておるといということで、これは最近の増加率が頭打ちになっていることを表しているといところでございます。

また、2023年度の赤とコロナ前の2019年度の青を比べていただきますと、まだまだ青には及んでいないということがこれで分かるかと思えます。このことから、コロナ前のレベルの回復というのはなかなか困難な状況にあるといことが御理解いただけるかというふうに思えます。

以上、粟生線の利用状況について、簡単ではございますが御説明をさせていただきました。

○会長

ありがとうございました。

2ページ目の話の累計の数なんですが、人口減少、少子高齢化、また、学生の減少、さきほどお話ありましたオンラインというか、自宅勤務という形で減ってきているわけですが、神戸電鉄さんも定期の数は減っているんですが、たしかお聞きするところによると、阪神間の鉄道に比べると、いわゆる定期利用はあまり減っていないというふうに聞いた記憶があるんですが、いかがでしょう。

○○○委員

実は、弊社の場合、関西の大手と比べると、回復率という面では少し先行しておるような形でございます。

ただ、定期につきましては、さきほども申し上げましたように、少しやはり定期外に比べると戻りが悪いというようなところではございますけれども、大手他社と比べると、戻りのパーセントだけで申しますと、よいというような状況でございします。

○会長

分かりました。突然振ってすいません。

何か御意見、御質問等はございますでしょうか。

さきほど三木駅で増便のお話、神戸電鉄さんからしていただきましたけれど

も、三木市の事業として、令和2年と3年度とさせていただきまして、コロナの中でまだ評価できないという部分がありまして、令和4年度、そして、今年度末まで2年間延長させていただきまして、令和6年度からも2年間やるということで、12月三木市議会で議決いただいたんですが、やはり減っていく中でも、この三木駅、三木上の丸、恵比須の減りが非常に少ないと。三木駅は、いろんなリニューアル効果はあると思うんですが、やはり1時間に1本が30分に1本になることで非常に増えているという効果はありましたんで、また、引き続き2年間、この区間については増便ということでさせていただいております。よろしくお願いたします。

何か御意見、御質問等ございましたら。

はい、どうぞ。

〇〇〇委員

便数の話なんですけど、僕は小野なんですけども、よく神戸電鉄、1時間に1本、乗られへんわいう、よう話聞くんです。これからずっと多少は伸びていくと思うんですけども、そのときに増便、元に戻す、そういうお考えはあるんでしょうか。

〇〇〇委員

これからの利用状況によると思うんですけども、実際に小野市内の利用状況を見ますと、7割方が学生さん、高校生のかたが御利用をいただいております。朝夕については非常に多くの御利用をいただいておりますんですけども、昼間についてはかなり乗車数が少ないということもございまして、今のような、ちょっとダイヤの編成になってございます。当然、朝夕の高校生が利用する時間帯については、御利用に応じた便数を使っておるというようなところでございますので、今のところ、ちょっと利用状況からいうと、なかなか増便するというのは難しい状況かなというふうに思います。

それと、もう一点は、終着駅である粟生なんですけれども、加古川線と北条線に当然そこで接続しておるんですけども、それぞれの鉄道が今1時間に1本というような状況ですので、それに合わせて運行しておるということもございしますので、御理解いただけたらというふうに思います。

○会長

よろしいですか。

ありがとうございます。

ほかに御意見、御質問等はございますでしょうか。

(「なし」の声あり)

○会長

では、また、ひとまず次に進めさせていただきます。

報告事項3番目です。本年度の利用促進の取組状況、企画乗車券の販売について、これを事務局から願いたします。

○事務局

はい。そういたしますと、お手元、資料3と資料4を続けて御説明させていただきたいと思っております。

まずは、資料3ですけれども、「三木金物まつり1dayチケット」の販売等についてということで、三木金物まつりと連携したチケットの販売とまつり会場へのブース出展について取り組んでおります。

本年度につきましては、三木金物まつりと同日開催の山田錦振興プロジェクト、これは会場はメッセみきでありましたけれども、そちらと連携しまして、チケットを購入して会場を訪れた利用者に対しましてプレゼントを贈呈することで、公共交通の利用とか市内の回遊を促進したというところでございます。

1の三木金物まつり1dayチケットの販売ということで、販売の内容を記載しております。

そのうち、特典とありますけれども、チケット購入者に対しましては、三木金物まつり会場においてガラガラ抽選くじを実施するとともに、山田錦振興プロジェクト会場においても協議会グッズでありますとか、それから、三木ホースランドパーク様にもこのたび協賛いただきまして、デイキャンプエリア無料券等を贈呈させていただいたということでもあります。

販売実績につきましては、272枚ということです。

2の神戸電鉄様と本協議会のブース出展の様子については、御覧いただけたらと思います。

御説明が遅れましたけど、山田錦振興プロジェクトについてということで、一番下に米印を入れておりますが、三木の特産の酒米「山田錦」の周知PRということで、山田錦を使った日本酒が試飲できたりとか、今年度については北播磨「農」と「食」の祭典の共催ということで、北播磨の農畜産物や農産加工品の魅力もPRをさせていただいているということでございます。

ひとまず、資料3については以上でございます。

続いて、資料4、「おもてなしきっぷ」の販売についてということでございます。

こちらの切符につきましては、前回の協議会でも御報告を一部させていただいたところではありますが、本年度につきましてもおもてなしきっぷを販売させていただいております。

冒頭、なお書きに記載しておりますが、本年度につきましては、神戸市交通局様との連携を継続させていただくほか、新たに神姫バス様、それから、神姫ゾーンバス様との連携によりまして企画乗車券の内容を拡充したということでありました。

1の販売内容及び販売料金ですが、大きく2つあります。神戸電鉄版と神戸市営地下鉄版です。神戸電鉄版については、神戸電鉄1日乗り放題乗車券、おもてなしメニュー引換券、それから、新たに神姫路線バス割引券が加わった内容でございます。神戸市営地下鉄版については、さきほどお伝えした神戸電鉄版に加えて、神戸市営地下鉄も1日乗り放題となる券が付いているということでございます。

販売期間は、昨年7月15日から本年1月14日までということでございます。

一番下、5、販売実績でございますが、資料のほう、5、796枚（速報値）

とありますが、実績が確定しておりまして、令和5年度、5,910枚でございました。下のほうに、神姫路線バス割引券着券枚数につきましては110枚ということでありました。販売枚数、下のほうに参考で、令和4年度、4,697枚と入れておりまして、そちらから比べると、今年度、1,213枚の増、25.8%の増ということで、非常にお得な切符が定着してきて、また、新たな連携によりまして販売が伸びているというところでございます。

資料3、資料4については以上でございます。

○会長

ありがとうございました。おもてなしきっぷは順調に伸びているということで、いろんな連携が進んでいる証拠だと思います。

何か、この資料3、4について御意見、御質問等ありましたら、挙手にてお願いいたします。いいですか。

(「なし」の声あり)

○会長

では、ひとまず次に進めさせていただきます。

続きましては、イの駅的美装化及びモビリティ・マネジメントの実施についてということで、資料5、6、これもそれぞれ神戸市さん、三木市、よろしく願います。

○事務局

神戸市都市局交通政策課の〇〇と申します。

資料5のほうについて御説明させていただきます。

着座にて説明させていただきます。

神戸市立押部谷中学校（美術部）と連携した押部谷駅的美装化の実施についてということで、「マイレール意識」の醸成とか、粟生線の愛着心の向上を目的として、押部谷中学校美術部のかたがたに協力いただいて、押部谷駅的美装化を実施しました。

内容としては2つございまして、1つ目が中学生に考えていただいたデザインを中学生自らペイントして、老朽化した柵をペイントしていただいたということです。

もう一つは、中学生が考えて製作いただいた粟生線の利用促進ポスターをホームに掲出したというこの2つの取組でございます。

下に写真が入っておりますが、(1)の柵の塗装のところでございます。デザインとしては、列車の絵とアルファベットのOSHIBEという文字が分かるようなデザインと、それと、神戸電鉄さんが描いているロゴマークを入れたものが斜めから見たらくっきりと分かるというようなデザインでございます。

それから、もう一つが、ホームに掲載した「乗って残そう未来の粟生線」ということで、利用促進ポスターが掲出をされております。

柵の塗装の取組の前に、今回、粟生線の現状と、それから、今後の利用啓発ということ中学生の美術部の皆さん、19名でしたが、啓発ということで説明させていただきました。

現地で塗装しているときに、駅前の店舗のかたとか、通りすがりのかたから、

いい取組だねということで声をかけていただいたということでございます。

最後に、美術部の部長のかたからコメントいただきまして、貴重な体験をすることができたということ、それから、粟生線活性化のきっかけになれたらうれしいと、それから、今後、粟生線を利用していきたいというようなコメントをいただいております。

今回の取組に関して周知PRも行っております。学校に協力いただいて、美術部の生徒のみならず、中学校の生徒の皆さん、それから、保護者の皆さん全体に周知したということで、学校に電子媒体で保護者に発信するシステムがありますので、こちらのほうに取組を発信するとか、学校の文化祭でポスターを掲出、貼り出しするなど、こういった形でPRをしました。

あと、区役所のインスタグラムのほうでもPRしたり、交通新聞にも活動が紹介されたというところでございます。

以上で説明を終わらせていただきます。

○事務局

続きまして、資料6のほう、三木市のほうから説明させていただきます。

資料6、モビリティ・マネジメントの取組についてということでございます。

左のほうに実施者とありまして、上から神戸市様、三木市、小野市様、それから、本協議会ということでまとめております。

神戸市様におかれましては、神戸学院大学の学生に、それから、三木市でいいますと、三木市高齢者大学の大学院の学生にモビリティ・マネジメントを実施しました。それから、小野市様におかれましては、市内6地区の各コミュニティセンターにおきまして、グループワーキングのほうを実施されたということでございます。

協議会の取組としまして、No.5のほうは今、御報告がありました押部谷駅の取組で、No.4については前回のこの協議会でもお知らせしたとおり、兵庫県立三木北高校様の2年生に、今、授業のほうに入らせていただいております。粟生線の現状に関する講義でありますとか、地域の課題等に関するグループワーキングのほうをさせていただいております。

下のほうに写真を載せておりますので、御参考に御覧いただけたらと思います。

ひとまず、以上でございます。

○会長

ありがとうございます。

これにつきまして御意見、御質問等ありましたら、挙手にてお願いいたします。

せっかくですので、神戸市西区総務部地域協働課長の〇〇さん、押部谷駅のこと何かコメントがございましたら、突然振って申し訳ありませんが、よろしく申し上げます。

〇〇〇オブザーバー

中学生が楽しんでこの美装化に関われたということで、やはり子どもたちが愛着を持っていくという機会としては非常によかったのかなと思っております。駅

自体がきれいになっていくということも大事ですけれども、今後の利用者の獲得のために、こういう企画みたいなものを今後も神戸市も連携してさせていただけたらと思っております。

○会長

ありがとうございます。突然振ってすみません。

押部谷のことなんで、〇〇さん、〇〇さん、何かございましたら、マイクがきますので、もし何かありましたら。

〇〇〇委員

すみません。私も押部谷の住人なんですけども、私自身がどっちかという地下鉄のほうが近い関係がありまして、学生の頃は神鉄しかなかったんで、学校も三木でしたから、毎日使っておったわけなんですけども、もうおおかた60年近く乗ってないような関係であれなんですけど、どうしても押部谷も少子高齢化といいますか、利用者がだんだん減ってきてるし、私の考えからしたら、駅前の整備がどうもできていないから、車で行っても停めるところもない。自動車を停めて、地下鉄みたいに駐車場に入れて利用できるんだったら利用率が増えると思うんですけども、どこの駅に行っても、もう送り迎えぐらいしかできない。自分が乗って行ってすることもできないし、年がいつてきたら、車がなかったら、もう歩くんもしんどいし、距離があればもう全く無理だと。そういうことで、申し訳ないんですけど、利用したい気持ちはあるんですけども、人間自体も、利用できる人も車で通勤してしまうような格好で、あまり利用してない。そういう申し訳ない気持ちなんですけど、なんとか利用率を上げたいんですけど、イベントとか金物まつりとか、各寺院や神社のイベントなんかあれば、盛り上がりもすると思うんですけども、私どもも連合のほうで明石川愛護協議会もありまして、夏にイベントを開いてるんですけども、これも住吉神社というところでして、神鉄の駅からちょっと遠いし、神鉄利用して来れるお客さんもあまり少ないということで、子どもたち中心のお祭りなんですけども。去年も1,200人ほど集めてやったんですけども、押部谷全体が一つになって盛り上がり。そういうイベントを各自治会のほうも考えていったら、そのときのにぎわいだけになるんですけども、多少は神鉄の利用をするかたも増えるんじゃないかと考えています。

今後、できるんやったら利用したいんですけど、行く用事がないというか、最初に言うたように駐車場もないし、利用できないというような格好です。すみません。

○会長

いえいえ。突然振りまして申し訳ありません。

〇〇さん、どうですか。突然振って。

〇〇〇委員

中学校を抱き込んだのはよかったなと思います。押部谷には、桜が丘には幼稚園と小学校と中学校もありますんで、そこら辺を巻き込んで、押部谷までなんで、神戸市は。あと、栄の駅。栄の駅は、私が生け花を生けてますんで、あれなんですけど、木幡の駅、そこまで幼稚園のお子さんがたに、駅の中のペインティングをちょっとさせてもらったら、保護者が見に来るんじゃないかなと。子ども

頼みなんですけど、そういう企画もあってもいいんじゃないかなと。

あと、三木市かどこかだったかな、七夕祭りで幼稚園の子を抱き込んで、言葉は悪いですけど、いろいろ催しされてるんで、神戸市としたらそういうのをもう一つかな。子どもが少ないんで、少ない子どもを巻き込むのが一番いいんじゃないかなと。

私も高齢者なんで、もう一つ言うと、駅の中の階段を本当はなくしてほしい。スロープにしてほしいんです。高齢者って、私もそうなんですけど、階段が大変なんで、それをなくしてほしいのと、今、会長おっしゃったように、駅の周りのターミナルっていったらちょっと大げさなんですけど、県道の22号線かな、あそこからちょっと入らないと駅がどれもないんです。だから、道路に車が通っていても、どこが駅か分からない。やっぱしそこら辺の整備を、何か前、駅の周りを整備するとかなんとかいう、何かあったような気がしたんですけど、私も年のせいで忘れっぽくなって、ちょっと定かではないんですが。やっぱり駅の周りの整備をしていただかないと、していただいたらうれしいなというところで、すいません、突然振ってこられたらちょっと言えないなと、失礼しました。

○会長

すいません、突然振りまして。

皆さん、貴重な意見ありがとうございます。

神戸市さんにおかれても、駅については北区のほうで、区役所というんですか、鈴蘭台のほうでされておりますし、駅の場所っていうのはなかなかどの駅も変えることはできにくいでしょうけど、少なくとも通っていて分かりやすくするとかは、各駅、パーク・アンド・ライドされておりますけども、それを充実させるとか、またさきほどありました子どもや小学生をいろいろと巻き込んでいくとか、非常にいい意見いただいたと思いますので、よろしく願いいたします。

これ、神戸電鉄の〇〇さん、何か御意見あります。よろしい。

よろしいですか。

ほか、事務局もよろしいですか。何かある。

いいですか。

(「なし」の声あり)

○会長

ほかに御意見、御質問ありましたら。

(「なし」の声あり)

○会長

ではまず、ひとまず先に進めさせていただきます。

続きまして、ウです。資料7以降です。

各種イベントの開催ということで、これも事務局からお願いします。

○事務局

神戸電鉄の〇〇と申します。

資料7について説明させていただきます。着座にて失礼します。

「神鉄沿線GO!GO!キャンペーン」の実施についての説明です。神戸電鉄株式会社において観光庁様の補助事業である交通・観光連携型事業を活用し、S

NSを用いた沿線への誘客施策として次のとおりのキャンペーンを実施しました。なお、粟生線の利用促進の観点から、協議会と連携し、賞品を提供しております。

実施期間は、令和5年8月14日から同年11月12日まででありました。

実施内容なのですが、募集期間内にInstagramとSNSで神鉄沿線のすてきなスポットを紹介したかたの中から抽選で賞品をプレゼントというキャンペーンになっております。キャンペーンに関してはエリアを3つに分けておりまして、神戸市北区沿線、三田市沿線、粟生線沿線という3つのエリアを設定しております。粟生線に関する投稿については、協議会からしんちゃんぬいぐるみを全5体提供しております。

下のキャンペーンポスターは、電車の中吊り広告のやつなんですけども、御覧になられたかたもいらっしゃるかなと思います。

キャンペーンの投稿数自体なんですけども、全70件あったうちの粟生線に関するキーワードといますか、ハッシュタグというんですけど、「粟生線ってこんなところ」というキーワード、粟生線関連の投稿を募集したところ、申し訳ございません、50件って書いてあるんですけども、30件の誤りでございました。たいへん申し訳ございません。30件の応募がありました。

資料7について以上でございます。

○事務局

続けて、事務局のほうから資料8、9、10と続けて御説明させていただきます。

まずは資料8でございますが、「神鉄トレインフェスティバル2023」の開催についてということでございます。

こちらのイベント、神戸電鉄様と本協議会の共催イベントでございます。昨年度も開催しておりますが、昨年度はコロナ禍の影響で、午前、午後の2部制で、かつ、事前申込み制と、飲食ブースも見合わせるといったような規模縮小の開催だったんですけども、本年度につきましては4年ぶりとなります通常の開催ということで実施したということでございます。

開催日は令和5年10月1日、場所としては神戸電鉄様の鈴蘭台車庫でございました。

開催内容は御覧のとおりでございます。特別列車の運行をはじめ、また、粟生線サポーターズくらぶの運営委員様によります鉄道模型の展示会でありまして、協議会ブースとしまして特製の缶バッジ塗り絵、缶バッジ製作、それから、しんちゃん輪投げということで、主に子どもさんをターゲットにしたようなイベントをさせていただきました。

4の参加者数でございますが、2,970人ございました。こちら、昨年度は定員を設けておりましたので1,434人、令和元年、コロナ禍以前ということでいいますと、当時2,251人ございましたので、その実績を超えるような来場者のかたが来られまして、非常ににぎやかなイベントとなりました。

後ろのほうに写真、会場の様子を付けておりますので、御参考に御覧いただけたらと思います。

続きまして、資料9、特別列車「栗生線サイクルトレイン」の運行についてということでございます。

昨年度からこの取組を始めておりまして、今年度も引き続き実施をしたということでございます。

運行日については令和5年11月25日ということで、運行内容としまして、自転車をそのまま車両に持ち込める特別列車ということでございます。

(3)として書いてありますが、栗生線沿線のサイクリング周遊の促進ということで、今年度、謎解きクイズも併せて実施をしております。沿線の各店舗様に御協力をいただきました。

(4)としまして、今年度は今後の取組の参考とするためにモニター参加枠というものを設けまして、モニター参加いただいたかたに、例えばですけど、車内で自転車を固定していただくとか、車内で自転車同士で擦れ違っていたかどうかといったような実験を行わせていただきました。

行程については御覧のとおりでございますが、長田駅から栗生駅まで移動しまして、そこからサイクリング(自由行動)ということでございます。帰りは押部谷駅に集合いただいて、元の長田駅まで戻ってくるといったような流れでございます。

募集定員30人とモニター10人ということで、参加費用1,000円。

実際の参加者数は一番下、6の参加者数でございますが、一般参加が19人、モニター参加が10人ということでございます。神戸市域から11人と、それから、大阪、丹波篠山といったように、沿線外からの利用も見られました。

ページ後ろのほうに当日の取組の様子を写真として掲載しておりますので、御参考に御覧いただけたらと思います。

さて、資料10でございます。

「クリスマス装飾列車」及び特別列車「電車に乗ってハッピークリスマス」の運行についてということでございます。

クリスマス装飾列車につきましては、沿線地域の幼稚園、保育園及び保育所の御協力のもと運行しておるということです。

また、特別列車のほうにつきましては、コロナの影響でこれまで運行を見合わせてまいりましたが、4年ぶりの運行ということで再開したということでございます。

まずは、クリスマス装飾列車の取組ですけれども、運行期間としまして12月1日から25日までということでございます。

3の装飾内容に書いておるとおり、子どもさんのサンタクロースへの願い事がありますとか、メッセージを載せたポスターを車内に掲出したり、あるいは、車窓をクリスマスの装飾で飾ったりといったようなところでございます。

御協力いただいた幼稚園、保育園、保育所につきましては、全部で13か所に御協力いただいたということでございます。

ページ裏のほうを御覧いただきたいと思います。

電車に乗ってハッピークリスマスということございまして、12月16日のこれは特別列車、イベント列車でございます。

内容としましては、クリスマス装飾列車、さきほど表のページで御説明した車両に御乗車いただきまして、神戸電鉄公式キャラクター「しんちゃん」との記念撮影でありますとか、三木市出身の歌手の衣川亮輔さんによるクリスマスソングを楽しむ企画でございます。イベントの運営に当たりましては、神戸電鉄親善大使の皆様にも御協力をいただいたということでございます。

3の行程及び定員で、大きく西鈴蘭台発の電車、小野駅発の電車、志染駅発の電車と3部構成になっております。それぞれ定員が40人ということなんです。いずれも即日の完売ということで、非常に人気の企画となっております。

下のほうにイベントの写真を載せております。

神戸電鉄様のほうからお伺いしたところによりますと、このイベントに参加された子どもさんから、イベントの後にお礼のお手紙が来たりとか、また、年賀状が届いたりとか、非常に心の通うイベントになったかなというふうに思っております。引き続き、こういった取組を継続していきたいと考えております。

資料10としては以上になりますが、本日お配りしている資料の中に、配布資料として、長治公とともに三木城下町を巡るリアル謎解きゲームというチラシを付けております。こちらは三木市の観光振興課のイベント、取組となっておりまして、恵比須駅を拠点とした謎解きゲームで、無料で御参加いただけるということで御紹介させていただきます。本日は、出入口、受付のところ謎解きマップをお帰りの際、手に取っていただけるように御用意しておりますので、ぜひ御興味あるかた、お帰りの際に手に取っていただいて、謎解きにチャレンジしていただけたらと思います。1つ御紹介として付け加えさせていただきます。

ひとまず、報告事項は以上でございます。

○会長

ありがとうございます。各種イベントの開催ということで、この件につきまして御意見、御質問等がございましたら、挙手にてお願いをいたします。

いいですか。

(「なし」の声あり)

○会長

では、ないようでしたら、今日の次第は。

ありますか。どうぞ失礼しました。○○さん、どうぞ。

○○○オブザーバー代理

近畿運輸局交通企画課○○課長の代理で出席している○○です。

資料7のほうになるんですけど、ちょっとあまりいい話ではないんですけども、本年度使っていただきました交通・観光連携型事業の補助事業につきましては、来年度の予算がちょっと付いておらない状況でございますので、同様のキャンペーン等を実施される場合は、早めに運輸局のほうに御相談いただいたほうがいいのかと思いますので、お伝えさせていただきます。

こちらに限らず、観光庁予算の補助事業というのはほかにもありますので、合致するものがあるのかどうか、補助の対象になるのかどうかとか、そういった話について事前に御相談いただいたほうがいいのかと思いますので、この場を借りてちょっとお伝えさせていただきます。

以上でございます。

○会長

ありがとうございます。また、実施する場合は、また、後で相談させていただきたいと思います。

ほかに御意見、御質問等はございますでしょうか。

よろしいですかね。

(「なし」の声あり)

○会長

じゃあ、全体を通して何か御意見、御質問等は。

○○先生、よろしいでしょうか。

○○○委員

意見ではないですけど、イベントの御説明を聞きながら、いろんなことをやっていて、これが広がっていけばいいなというふうに感じているところです。ここは協議会が絡んだイベントの御紹介なので、それ以外にも神鉄さんはハイキングを、三木や小野のいろんなところを案内されているのも拝見していますし、いろいろ努力されている。それが、一部の人だけが、知っている人だけがというふうにならないように、続くためにはどうすればいいのかということを、知恵を絞る必要があるかなど。それじゃあ、せっかくある粟生線サポーターズクラブをもうちょっと活用できないのかななども、ちょっとお聞きしながら思いました。それが全体としての感想であります。

あと、もし可能であれば、神戸電鉄さんや神姫バスさんにお伺いしたいんですけど、いわゆる2024年問題で、人手不足っていう話で、残業規制があったりとか、休憩時間の規制、こちらも厳しいんでしょうけど、ぶっちゃけ人が足りない状況じゃないかなと思うんですけど、実質どんな感じになってるのか、ざっくりとしてでけっこうですけど、少し教えていただければと思います。

○会長

どちらからいきますか。では、神鉄さんから、その後、神姫バスさん。

○○○委員

神戸電鉄の○○でございます。

さきほど先生から御指摘がありましたように、少子高齢化で、特に少子化が進んでおりまして、非常に人の確保が難しくなっております。実際、募集しましても、募集に満たない人数しか採用ができないというような状況でございます。新規採用以外に通年で中途採用というようなことで募集をして補っておるのが実態でございます。

ただ、それでも非常に厳しい状態ですし、途中で辞めるかたが非常に増えてきておるといような状況でございますので、特に、以前は沿線に住んでおられるかたが弊社に入社いただいていたという事例が多かったんですけども、最近はなかなか沿線のかたでということが少なくなってきておるのが事実でございます。ですんで、いろんな、今回、押部谷中学のかたに御協力いただいて、ああいうイベントをさせていただいたというようなことも含めて、自分たちのまちの鉄道であるというようない親しみを持っていただいて、その上で、また、弊社の

ようなところに御就職するという事も考えていただきたいというふうに思いますし、また、皆様の中で、年齢を問わず、今、募集しておりますので、神戸電鉄にというようなかたがおられましたら、一声、お声掛けをいただけたらというふうに思いますので、よろしく願いをいたします。

○会長

ありがとうございます。

では、神姫バスさん、引き続きお願いします。

○○○委員

2024年問題につきましては、前日からのインターバル、休息時間を空け、これまで8時間だったのが、9時間に、11時間になるように努力義務でやりなさいということで、非常に厳しいような義務というか、課せられるというところで、実はバスに乗ってる人は、朝の例えば6時から出勤して、夕方、夜も、皆さんの退勤のお時間になるまでバスを動かせるというところが、夕方以降は実際走ってしまうと、翌日までのインターバルが空けられないということから、夜の減便はもうやむなく4月にやらざるを得ないというふうに考えています。

一方で、この原因となってくるのは、やはり乗務員不足というところがありますから、その乗務員不足を解消するために、ちょっと変わった、映画を模したようなポスターを作ってみたり、この会社何やってるんだらうなという関心を引くというところから、面白いことをやっているなという会社のイメージを付けて、それからというか、乗務員を募集してますということで、PR活動しております。そういった面白い活動については、メディアとかそういったところで取り上げられたりだとかしており、今年に入ってから、昨年までは採用者数が少なかったのが、徐々に増えていっている状況でございます。

あと、取組といたしまして、私どもができることといえば、自治体の皆様の御支援をいただきながらというところでさせていただいているんですが、バスの運転士は大型免許が必要というところで、何かいい事例がないのかなというふうに考えたときに、別の県なんですけども、消防士さんが退職された折に、再任用でほしい自治体さんのほうで、再度技術職等々で働かれるというパターンが大半と聞いてるんですが、その中でも、やはり市民のためにということと、大型免許を持たれてるので、おじいちゃん、おばあちゃんの移動のために頑張るんやっていう、やはり消防士さんもいらっしゃいますので、かつ、厳しい勤務であったとしても、バスも不規則な勤務ではありますけれども、非常に親和性が高いのかなというところで、自治体の皆様にはお声掛けさせていただいたところで、三木市さんのほうにもお願いして、消防のかたともお出会いさせていただいて、ちょっとこの3月は退職者がいらっしゃらないということですが、引き続き、そういった幅広い営業活動をいたしまして、採用活動をいたしまして、なんとか地域の移動手段を確保できるように努めておるところでございます。以上です。

○会長

ありがとうございます。

○○先生、よろしいですか。

○○○委員

ありがとうございます。

○会長

ありがとうございます。

2024年問題、また、人手不足、中途退社ということで、市役所も同じような状況はあるところですが、やはりあらためて聞きますと、さきほど押部谷中学校の件じゃありませんが、やはり地元のかたに愛着を持っていただくというか、今まで以上に重要じゃないのかなというふうに思っておりますので。

○○さん、どうぞ。

○竹○○委員

すいません。ちょっと減便という言葉が先行してしまったんですが、影響のない範囲で、良識の範囲でさせていただいておりますので、御心配なさらぬようにいただければと思っています。

○会長

ありがとうございます。

あと、○○先生からありましたイベントの周知、PRについて、サポーターズクラブの活用、また、SNSとか、いろんな今、手段もありますので、これはまた事務局のほうでいろいろと検討いただければと思います。

ほかに御意見等はございますでしょうか。

はい、どうぞ。

○○○委員

配布資料で1つ付けさせていただいております。ちょっと御紹介だけさせていただきますけども、神鉄で旅する謎解きクエストというふうなことで、イベントを現在実施中でございます。これは単に謎解きイベントというだけではなく、沿線の歴史を、これを通じて学んでもらおうというふうなことで、秀吉にするなら有馬ということになるんですけども、有馬だけじゃなくて三木も関係するんですよというふうなところも含めて、沿線の歴史を、これを通じて学んでもらおうというイベントを、今、企画して実施してございます。12月から3月3日までというふうなことで、今、実施中でございますけれども、現在、好調に売上げを上げておるというふうなことでございますので、また、御興味あるかたは御紹介いただけたらというふうに思いますので、よろしく願いいたします。

○会長

ありがとうございます。

たしか、昨日、県は博物館ですか、県の発表がありまして、今日は神戸新聞をはじめ、僕の記憶では、読売、朝日、産経にも出ていたと思うんですが、三木城攻めのことで、今日ちょっと新聞も大きく取り上げられておりましたので、何かこれにつながったらいいなというふうに思います。

ほかに御意見、御質問等はございますでしょうか。

よろしいですか。

(「なし」の声あり)

○会長

では、議事はこれで終わりましたので、マイクを事務局にお返しします。

○事務局

仲田会長におかれましては、会議の進行、誠にありがとうございました。

それでは、閉会に当たりまして、協議会副会長、小野市の藤原副市長に御挨拶をお願いしたいと考えております。

藤原副会長、よろしくお願いいたします。

○副会長

はい。皆さん、御苦労さまでございました。たくさんの御意見をいただきまして、特に我々も気付かなかったところがいろいろとあると思います。また、この事業をいろいろと展開されていると思うんですけども、まだまだたくさんの先例的な事業があると思うんです。私も今、こちらの事業をお聞かせ願いながら、例えば、我々でもお祭りであるとか、それから、桜のシーズン、ヒマワリのシーズンになれば、本当にもう車が入り込めないぐらいの人がたくさん来られていまして、この辺を、いかに自動車を規制するかというふうなことを考えているんですけども、そういうときに、こういう鉄軌道を使っていただいて、もう少しそこからのアクセスとか、モビリティを考えれば、そういう利用が上がってくるのではないかなというふうなこともちょっと思ったところでございます。今後、そういうところでももっと神戸電鉄に親しんでいただくような施策が出てこようかと思っておりますので、また、皆様がたのいろいろと御意見を聞きながら、活性化が進んでいったらいいなと思いつつ聞いておりました。

本日は御苦労さまでございました。

○事務局

ありがとうございました。

それでは、これもちまして第51回神戸電鉄粟生線活性化協議会を閉会いたします。

次回の協議会の開催につきましては、5月頃を予定しておりますので、何かと御多用のところ恐縮ではございますが、その際には御参集を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

委員の皆様におかれましては、今後とも粟生線沿線地域の活性化への取組等について、何とぞ御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。本日は誠にありがとうございました。